

質問に対する回答について

工事名) 仙台東部道路 新名取川橋耐震補強工事

質問事項と回答

番号	質問事項	回答
1	制震ダンパー工の桁内補強部材の数量について、設計成果品に数量がありませんが図面より計上するものと考えてよろしいでしょうか。	設計図 (114/190) 桁内補強工詳細図 (その13) ~ (119/190) 桁内補強工詳細図 (その18) の図面より、数量を算出しますが、金抜設計書及び数量明細書に誤りがあるため、後日訂正いたします。
2	特記仕様書 25-13-3 材料に「鋼製ブラケットの表面処理は JIS H 864 (溶融亜鉛めっき) によるものとし、膜厚は HDZT77 とする。」となっている一方で、25-13-4 製作(2)に「上部工ブラケットに用いる塗色は、本特記仕様書 25-15-5 「防錆」に従うものとする。」とあり、ボルトも S10T を使う設計となっています。 上部工ブラケットは C5 仕様、下部工ブラケットはめっき仕様と考えてよろしいでしょうか。その場合、上部工ブラケットの塗装数量をご明示ください。	設計図 (44/190~49/190) 制震ダンパー工詳細図 注記に示すとおり、上部工ブラケット及び桁補強は、主桁と同等以上の防錆塗装を施すものとし、下部工ブラケットは特記仕様書 25-13-3 「材料」に示すとおり溶融亜鉛メッキ仕上げとなります。防錆の塗装系については特記仕様書 25-15-5 「防錆」を参照し、塗装数量については数量算出要領に従い、上記設計図より算出してください。
3	上部工鉛直材補強工 補強部材は 42 番が昼間作業、43 番が夜間作業となっておりますが、それぞれの単価の施工箇所をご教示願います。	設計図 (39/190) 上部工鉛直材補強工図 (その1) 断面図 に示す夜間施工の範囲が夜間作業となります。
4	人力施工によるはつり処理及び WJ 工法によるはつり処理の数量をご教示願います。	設計図 (40/190) 上部工鉛直材補強工図 (その2) に示すはつり処理についての数量は、上記の設計図より数量を算出願います。
5	設計図に記載の人力施工によるはつり処理及び WJ 工法によるはつり処理にかかる費用は上部工鉛直材補強工 補強部材に計上すると考えてよろしいでしょうか。	そのとおりです。
6	動的解析を行う対象橋梁は、P2~P3 区間の単純ローゼ桁のみで良いでしょうか。ご教示願います。	P2~P3 区間の単弦ローゼ桁、P2、P3 橋脚部及び基礎の照査を含みます。
7	中空部コンクリート充填が計画されている P2、P3 橋脚の耐震照査は見積書に含めてもよろしいでしょうか。ご教示願います。	P2、P3 橋脚の耐震照査については見積書に含めてください。

8	P 2、P 3 の杭基礎の耐震照査は、見積項目から除外してもよろしいでしょうか。ご教示願います。	P2、P3 の杭基礎の照査については見積項目に含めてください。
---	--	---------------------------------